

きっかけとしての「従軍慰安婦」

Ogaya seminar presents「カタロウガン！ロラたちに正義を」上映会

元「従軍慰安婦」の女性は言いました

「あなたのお祖父さんがやったこと。あなたが責任とってよ」
もしあなたに問われた問だったら、どう答えますか？

「従軍慰安婦」とは太平洋戦争中、旧日本兵による性暴力の被害にあった女性のことです。旧日本軍が組織的、日本国内・植民地・占領地の女性を、騙し、あるいは暴力的に連行して性奴隷にさせたという研究もなされています。

小ヶ谷3年ゼミは、今夏のフィリピンゼミ合宿にて、フィリピンの首都マニラにある元「従軍慰安婦」のおばあさん(通称ロラ)たちが活動するNGOを訪れました。戦時中、旧日本兵によって、彼女たちの家族が酷い形で崩壊させられ、強姦され、どんなに辛い身体的・精神的被害にあったかを、涙を浮かべながら語ってくださいました。彼女たちは今、日本政府に対する公式な謝罪と補償を求め、フィリピン政府に毅然とした態度をとるように求めています。

今まで明るみに出ていなかったロラたちが経験してきた過去を、もっと多くの日本に住む人たちに伝えたい、そしてロラたちの存在を知り、歴史責任について各々の見解を持ていただきたいという思いで、私たちは元「従軍慰安婦」の証言を集めた映画「カタロウガン！ロラたちに正義を」を上映し、今回 JASSO ショートステイ・プログラム「グローバル・スタディーズ・ツアー」で国大に滞在するフィリピン大学学生と歴史責任を考えるセッションを開催します。当日は映画の監督、竹見智恵子さんもお越しいただきます。ぜひ足をお運びください。

【日時】2012年11月16日(金曜日)14:00～~~18:00~~ 18:30

【場所】横浜国立大学附属図書館1階メディアホール

【タイムライン】

- 14:40～ オープニング
- 14:55～ 竹見智恵子監督挨拶
- 15:10～ ドキュメンタリー上映
- 16:30～ 休憩
- 16:45～ UP生プレゼン
- 17:00～ ワークショップ
- 18:15～ フィリピン大学学生より
- 18:25～ 締めめの言葉
- 18:30 終了予定

フィリピン人元「慰安婦」の闘いを追った
ヒューマン・ドキュメンタリー

カタロウガン！
ロラたちに正義を！

監督 竹見智恵子 撮影・編集 中井健介 音楽 アリソン・オバオ
企画・制作 ロラネット 2011年 80分

